

# 住人十色

第 164 回

## 伸びやかに、心も晴れやかに—— 自然体で臨む詩吟の四国大会

土居 美子さん(80) 内子21



◎県大会の賞状を手にする土居さん。4月には大洲市の大会で70歳以上が出場する「寿永の部」で優勝を果たしている

詩吟の腕前を競う「令和5年度全国吟詠コンクール愛媛県大会」が5月14日に松山市で開かれ、土居美子さんが一般三部で入賞し、7月に開かれる四国大会への出場を決めました。

土居さんは素山流梅鳳会内子支部に所属。週に1回、2時間ほどの練習を続けています。詩吟を始めたのは50歳を過ぎてからで、友人からの誘いがきっかけです。「特別、歌が得意というわけではなかったけれど、声は大きいほう。初めて参加した練習で、他の会員の皆さんの前で恥ずかしがりもせずに大声で吟じたら、気持ちが悪く感じたのをよく覚えていて」と笑います。

詩吟は漢詩などを伴奏に合わせて吟じるもので、独特の節回しが特徴です。土居さんは「詩の意味を思い浮かべながら、自分で強弱や緩急をつけたりして表現するのが大事。先生に教わった通りにしようと思うけれど、つい自分の癖が出てしまう」と、その奥深さを語ります。「四国大会への意気込みは特にありません。練習以上のことはできない、とは先生の言葉。ベテランの皆さんに混ざって出られるだけでうれしいこと。いつも通り慌てずに、気持ちよく吟じられたら」と穏やかに答えました。

### 編集 幸記

▽今年もゲンジボタルの撮影に挑戦しました。三脚を立てて構図を決めたら、あとは飛んでくれるのを祈るばかり。ホタルがいい感じにカメラに寄ってくるたび「きたー」「いいねいいねー」などと暗がりではしゃぐ広報係・38歳です(史)

▽最近はお豆乳に夢中です。毎日買いに行くのが面倒になり、思い切って通販で30本入りを購入。「今月の方は買いに行かなくて済むじゃん!」と思って買ったのですが、1週間後には半分しか残っていませんでした。あれ?(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の  
フリーダイヤル  
☎0120(44)2130

